

発行 passtell

発行：株式会社サンロフト パステル事業部
創刊：2008年6月20日(年4回発行)
発送先数：11,832施設
〈無料購読・掲載依頼のお問い合わせ〉
〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1
☎ 054-626-8888
🌐 <https://passtell.jp/>

園づくり・人づくりを考えるIT専門紙

パステルIT新聞

号外

特集
AI活用

実践者に訊く「保育とAI」 客観のAIで 多元的な保育を

急速に発展するAIは保育現場にどう活かされるのか――。保育施設とAI活用実証実験を推進するユニファ(株)の土岐社長と実践者である認定こども園さくらの堀園長による対談レポート。

テクノロジーの力で 途切れない保育を



認定こども園さくら(栃木県) | 堀昌浩園長
保育に向き合う時間を確保するため「ルクミー」を導入。ルクミーの保育AI機能に加え、議事録作成にAIツールを活用するなど日常業務におけるAI活用が浸透している。



ユニファ株式会社 | 代表取締役CEO 土岐泰之氏
保育総合ICTサービス「ルクミー」を開発・提供。書類作成・写真管理などを支援する保育AI機能をリリースし、保育施設における生成AI活用の実証実験を実施している。

土岐 時間を生み出すという観点ではAIへの期待は大きいですね。2022年にChatGPTが登場し、世の中で生成AIが騒がれ始めた頃、私も一人の消費者として衝撃を受けました。堀さんの言うような保

堀 保育ICTやAIを導入する前は、保育中に急遽、書類作成などの業務が発生した際に保育が分断され、結果として保育の質が落ちてしまうといった課題が散見されていました。感情労働の要素が強い保育の仕事では、急な時間の確保が難しかったり、本人にしかわからない部分があるため他者へのリレーが難しい。分断される時間を極力減らす必要性を感じていました。

土岐 レポート機能は今年の3月に提供を開始して以来、先行利用園が500施設を超えました。堀 実際に活用するにつれ、AIには時間の削減だけでなく保育の質に直結する付加価値があることがわかってきました。新たな主観に気づかせてくれ、子どもの姿を多元的な視点で捉えられるようになったんです。

堀 当園でも保育ICTにAI機能が組み込まれることで業務におけるAI活用が加速度的に広がっています。書類作成も目的や要点を数行投げかけるだけで、AIが綺麗に文章化してくれる。顔認識機能による写真のばらつきチェックも写真販売にかかる時間の大幅な削減につながりました。あとは、子どもの成長の記録ですね。過去に記録した写真や連絡帳からAIがレポートをまとめてくれる機能も活用しています。

土岐 AIによる発見のアシストですね。「3か月前はこうだった」「今は〇〇かもしれない」といった子どもの姿を過去の客観的なデータから導き出してくれる。それらに対し、保育者がどう主観的に意味付けするか。保育者の観察力・アセスメント力をAIが支援できるように。今まではこの客観を整理する時間

堀 AIによって日常業務の中に振り返りの材料が散りばめられている。これは保育の質向上において大変効果的です。最近ではAIは思考や対話を生み出す「言葉の起点」になるのではないかと思いついています。正直、AIに対する否定的な意見もはじめはゼロではなかった。ですが、ネ

土岐 今後AIは人間が感じできない・処理できないような莫大なデータを学び始める。我々が描く保育AIの未来は、先生一人ひとりのパートナーを生むこ

と。先生がどんな主観を発揮し、子どもたちの好奇心をどう後押ししたか。保育者の専門性が可視化され、園と家庭で共有されていく。様々なデータが蓄積され、子ども自身も過去の自分に出会いながら未来を選ぶ時代が来る。子どもたちの「愛された記憶」が劇的に豊かになる。そうしたことを社会全体で進めたと、子どもたちや保護者、保育者のウェルビーイングに近づける世界が訪れるのではないかと思います。

堀 まさに「こどもまんなか社会」。自分が愛されながら育った記憶を持つ人は強くしなやかです。そんな世界をつくる一助が生成AIなのかもしれません。

土岐 子どもたちの成長の物語には社会からの願いが含まれていると感じます。先生方が何十年と大事にされてきた保育観に時代が変わり偶然AIが出会った。堀 土岐さんやユニファさんと出会うことで見通しがほんの少し先にあるような気がしています。ワクワクする社会はウキウキする子どもたちを育む。僕はそこに期待しています。

と。先生がどんな主観を発揮し、子どもたちの好奇心をどう後押ししたか。保育者の専門性が可視化され、園と家庭で共有されていく。様々なデータが蓄積され、子ども自身も過去の自分に出会いながら未来を選ぶ時代が来る。子どもたちの「愛された記憶」が劇的に豊かになる。そうしたことを社会全体で進めたと、子どもたちや保護者、保育者のウェルビーイングに近づける世界が訪れるのではないかと思います。

ウェルビーイング 広がる世界をつくる

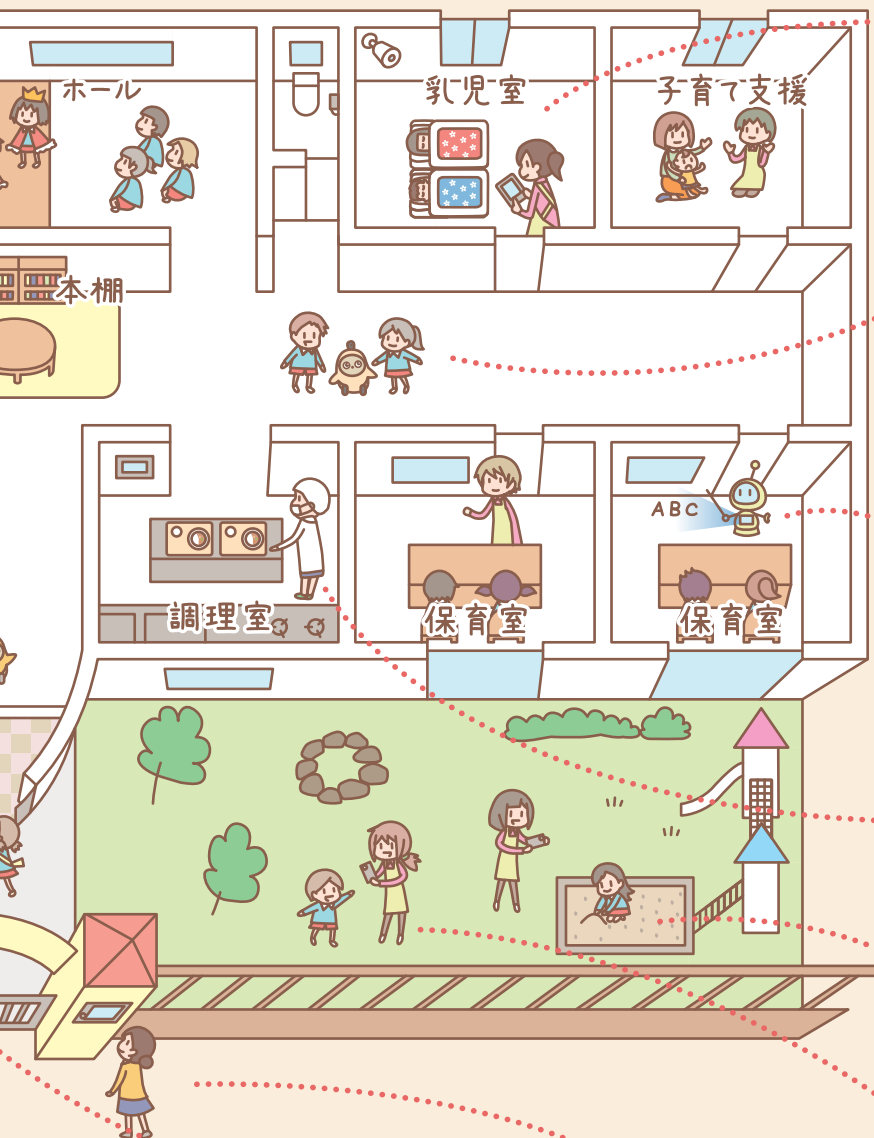
保育者の「もっと見たい」を叶える。ルクミーの保育AI機能詳細はQRから



AI（人工知能）という言葉が耳にする機会が増える中、「園でも使えるの?」「どんなふうに役立つの?」と気になっている保育者も多いのではないだろうか。今回の特集では、園での業務に活用できるAIの

どんな時に活用できる? 保育者のための AI活用園マップ

用マップ



午睡チェック

AIカメラが午睡中の異変を検知して通知。

コミュニケーション

他者への思いやりと愛情を育むロボット。

英語教育

AIコミュニケーションロボットが、多言語対応し子どもたちの英語教育を行う。

献立管理

献立リストからAIが最適な組み合わせを確認し献立表を作成。

写真撮影

撮影された写真がAIによって顔認証され自動で保存される。

写真整理

おたよりや連絡帳で使用する写真をAIが自動で選別。暗い写真もAIが明るく補正。

シフト作成・管理

業務シフトをAIがサポート。シフト作成にかかる時間を短縮できる。

電話対応

AIが電話対応の一次受けを行い、職員の代わりに保護者の対応。

施錠管理

AIが顔認証して、保護者が迎えに来たら自動で開錠を行う。

写真整理×AI

AI写真サービス とりんく

(株)とりんく



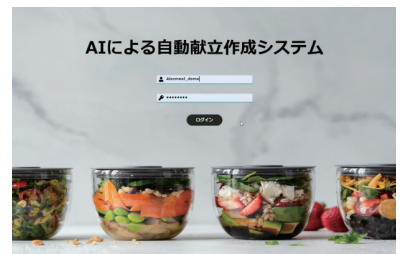
とりんくは、独自AI技術を用いた自動撮影・自動整理・自動配信で、写真業務を大幅に省力化します。特に、園児別の枚数調整、写りのよい写真の選定、画質の自動補正などの機能が大変好評です。今後は写真を通した子ども理解の補助などにも取り組む予定ですので、今後の進化にもご期待ください。



献立管理×AI

Well-Fed

(株) Well-Fed



Well-Fedの自動献立作成AIは、栄養バランスやコストなど20項目以上の条件を考慮し、1か月分の献立を自動で作成します。AIの導入により、献立作成の負担を大幅に軽減し、業務効率化を実現します。保育士や栄養士が子どもたちと向き合う時間が増え、保育現場の質の向上にもつながります。



シフト作成×AI しふとっと

(株) PROTECA IT Labo



しふとっとは、保育士が作った自動シフト作成サービス! ボタン一つで8割のたたき台が10秒で出来上がります。配置基準やスマホからの希望申請、印刷、クラス配置までしっかりカバー! シフトだけに特化したサービスだからこそ、シフトには自信があります! オンライン説明会も随時実施中です!



家族型ロボット×AI

LOVOT / らぼっと

GROOVE X (株)



LOVOTは、名前を呼ぶと近づいてきてつめてくる。好きな人に懐き、抱きしめるとほんのり温かい。生き物のような生命感があるのが特徴のペットのようなロボットです。LOVOTとの触れ合いで、子どもの「やさしさ」「言葉の表現力」「他者の気持ちを読み取る力」「順番を譲り合う社会性」などが自然と育ちます。





保育業務支援×AI

みらいコンパス

あいおいニッセイ同和損害保険(株)



独自のリスクマネジメントノウハウを学習している無料の生成AIチャットボットです。対話形式で進んでいくため、これまでChatGPTや生成AIなどを触ったことのない人でも、簡単に操作が可能です。園だよりや文書の作成サポートに加えて、保護者対応や職場環境のお困りごとなどご相談ください！



保育の振り返り×AI

すくすくレポート

ユニファ(株)



すくすくレポートは、過去に保育者が記録した写真や日誌から、子どもの成長を保育AI機能で自動的にレポートにまとめてくれる機能です。保育者が過去をさかのぼって子どもたち一人ひとりの写真を探し整理する手間が省けることに加え、クラスや子どもについての成長の振り返りが手軽にできます。



ホームページ×AI

AI広報

(株)サンロフト



AI広報は、保護者や園ホームページの利用者からの質問に、AIがチャット形式で自動応答する機能です。「何歳から入園できますか?」「教育で大切にしていることは?」といった質問に即時回答が可能。問い合わせに24時間365日対応しながら、職員の負担軽減にもつながるしくみを目指しています。



保護者連絡×AI

パステルApps

(株)サンロフト



パステルAppsは、園業務をサポートする保育ICTシステム。出欠連絡、登降園管理、預かり・延長保育など、園業務に必要な機能を搭載しています。保護者とよりスムーズなコミュニケーションが取れるよう、AIによる文章校正や外国語翻訳ができる機能を現在開発中。今後の実装にご期待ください。

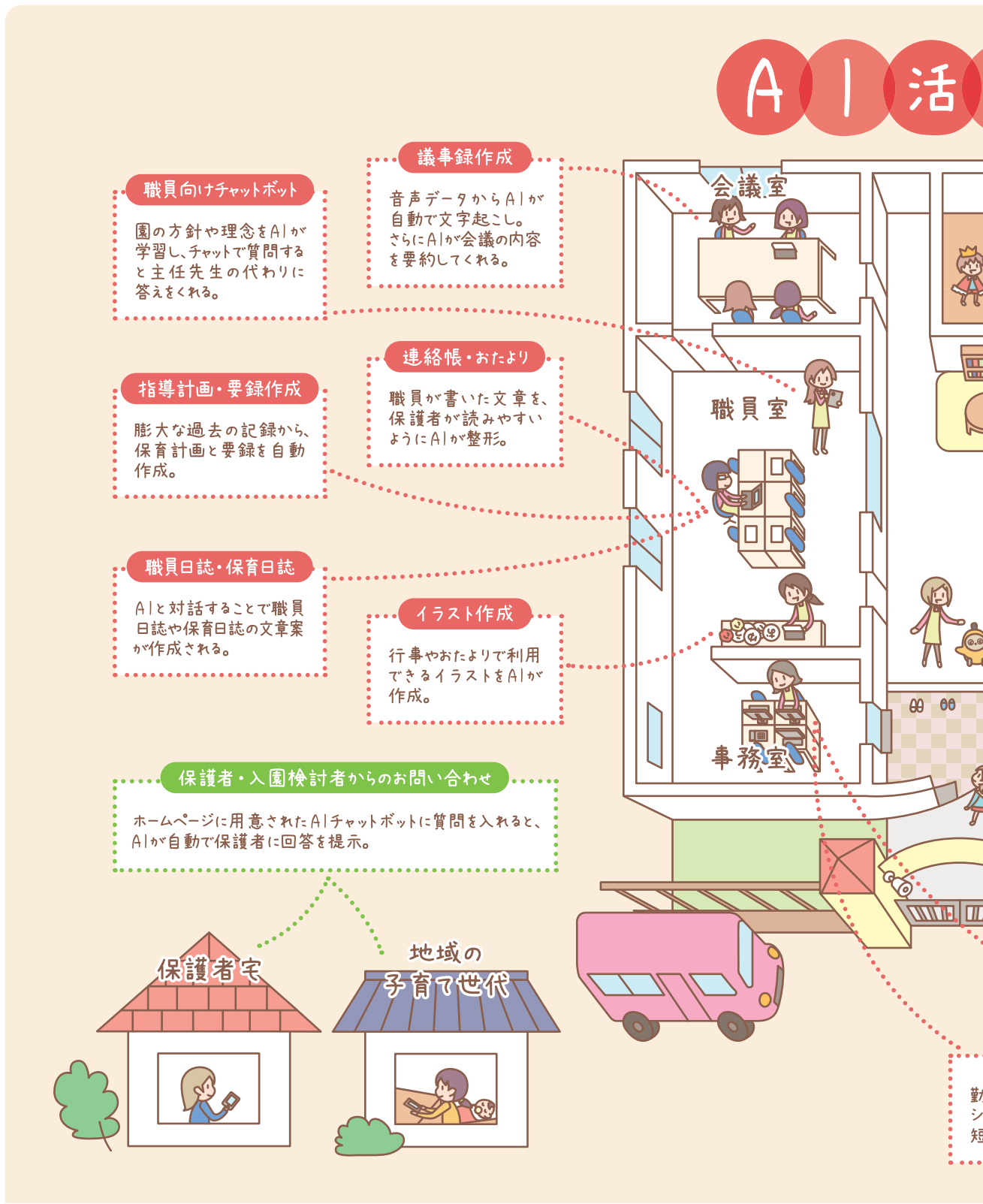


ツールを、園マップ形式で紹介します。日誌やおたよりの作成、職員間の情報共有、保護者対応など、日々の業務の中に「ちよっと手助けしてくれるAI」がいるとしたら……。そうした視点から、実際に活用されているサービスを中心に、幅広く取り上げました。

「AIは難しそう」と感じる前に、園マップを見ながら、まずはどのような場面でAIを活用できるのかを知り、園内の保育者同士で話をしてみてはいかがでしょうか。書類作成が効率化されたり、教育・保育活動のアイデアの幅が広がったり、安心して保護者に連絡をすることができたり……。AIでさらによくなる日常を少しずつイメージすることで、「AIを使ってみる」という第一歩を踏み出してみましよう。

文・宮田侑子／絵・片山渚

AI活



園経営者と保育者のためのITに役立つ情報満載！
「パステルIT新聞」公式Webサイトはこちらから

パステルIT新聞

<https://passtell.jp/>

無料テンプレートも
あってとっても便利♪

利用者4億人(2025年2月時点)と活用が急速に広がっている生成AI「ChatGPT」。AIに話しかける感覚で質問すると、アイデアやヒントがその場で返ってきて便利ですが、いつも自分の求める内容とは限りません。だからこそ「これでいいかな？」と見極める姿勢が大切です。うまく使えば、業務の短縮や発想の幅を広げる頼れるパートナーになってくれます。情報漏洩を防ぐために、設定で学習機能をオフにすることも忘れずに(図①)。

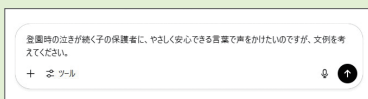
②。パステルIT新聞ではAI入門講座を開催。詳細はサイトをご覧ください。

もっと保育に！ パソコンつかっちゃお！ ChatGPTで表現の幅広がる

文・豊島直子

例えば、こんな使い方

(例)保護者への声かけを考える



【入力内容】

「登園時の泣きが続く子の保護者に、やさしく安心できる言葉で声をかけたいのですが、文例を考えてください。」



【出力結果】

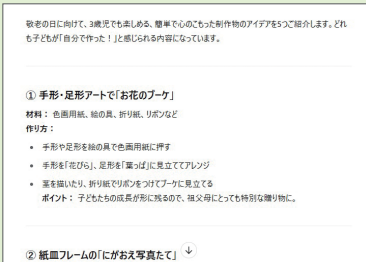
「気持ちに寄り添うタイプ」「成長を伝えるタイプ」など、伝え方のスタイルに合わせて、具体的な声かけの文例を出してくれます。

(例)制作のアイデアを出す



【入力内容】

「こども園に勤める保育士です。3歳児向けに敬老の日に向けた制作物をつくりたいです。簡単に楽しいアイデアを5つ教えてください。」



【出力結果】

お花のブーケを模した手形・足形アート、紙皿フレームの写真立てなど、3歳児でも楽しめる制作物のアイデアを5つ出してくれます。

学習機能をオフに設定する



<https://chatgpt.com/> よりアカウントを作成・ログインします。入力情報を学習させないように、右上のアイコンから「設定」をしましょう。



「データコントロール」の「すべての人のためにモデルを改善する」をオフにします。また、「一般」の言語設定を日本語にしておくとう安心です。

AIの回答精度アップ！ 「プロンプト」のコツ

ChatGPTを使う際には、「誰に・何のために・どうしたいか」を明確にするなど「プロンプト(AIへの指示文)」を工夫すると、より役立つ回答を得やすくなります。また、背景・目的・雰囲気(「やさしい言葉で」など)を指定すると、さらに求める回答が返ってきます。

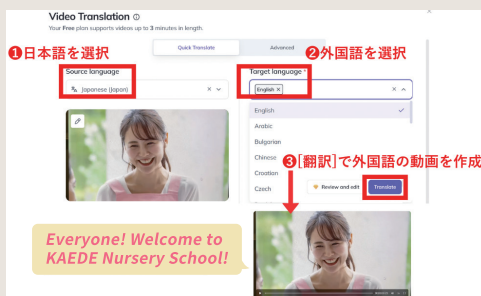
明確にする内容例

誰に	乳児 年少 保護者 先生
何を	お知らせの文章 制作のアイデア
どうしたいか	〇〇を作って 〇〇の文章を考えて 〇〇の説明して

園業務に役立てたいAIツール

組み合わせで増える、できること

動画を翻訳・アバター生成も HeyGen



動画をアップロードするだけで、話している内容を外国語に翻訳するツール。声や口の動きも自然に変換され、外国籍の保護者にも園の紹介やお知らせを伝えやすくなります。写真や動画から、アバターを生成し、園長や職員が実際に話しているような映像をつくることも可能です。

使い方 ホーム画面から「Translate Video」を選択し、動画を取り込む。画面左は日本語、右は翻訳したい言語を選んで翻訳。



文書を音声メディアに NotebookLM



資料を取り込むだけで、AIが音声で内容をわかりやすく解説するツール。音声は、男女が会話するようなポッドキャスト形式です。議事録ファイルを音声メディア化し、「聞く議事録」として職員と共有するのもよいでしょう。取り込む資料はPDFやURLなど、多様な形式に対応。

使い方 [新規作成] - [ソースを追加]で文書やURLを読み込む。音声解説の[生成]を押すと数分後に音声ファイルが完成。



議事録の生成・要約に Notion AI



アプリを開いて録音を開始・停止するだけで、議事録の要約を自動で作成するツールです。録音が終わると、内容が箇条書きで整理され、文字起こしも確認できます。アプリ内で修正や追記も可能です。職員会議や保護者説明会で、メモに気を取られず、話し合いに集中できます。

使い方 新規ページを開き、[ミーティング]を選択。[文字起こしを開始]で録音が始まる。[停止]を押すと要約文が表示される。

